

講義コード	11C0121001	授業形態	講義	事前登録の有無	あり	担当教員		開講期	
科目名	計量経済学Ⅰ				宮川 幸三			第1期	
履修前提条件					備考				
授業の目的	この授業では、経済の実証分析を行うために必要な知識の習得を目的として、計量経済学の基礎的な内容について講義します。計量経済学の様々な手法について、理論的な観点から理解を深めるとともに、Excelを用いたパソコン演習を行うことによって、より実践的な分析能力を養うことを目標とします。								
到達目標	単回帰分析を行うことができる。								
授業外学修内容・授業外学修時間数	この科目では、60時間以上の授業外学修を行うこと。予習・復習を欠かさず行なうこと。								
授業計画	<p>【第1回】 イントロダクション</p> <p>【第2回】 計量経済学とは</p> <p>【第3回】 経済データの扱い方 (1)</p> <p>【第4回】 経済データの扱い方 (2)</p> <p>【第5回】 経済データの扱い方 (3)</p> <p>【第6回】 経済データの扱い方 (4)</p> <p>【第7回】 記述統計の基礎 (1)</p> <p>【第8回】 記述統計の基礎 (2)</p> <p>【第9回】 記述統計の基礎 (3)</p> <p>【第10回】 記述統計の基礎 (4)</p> <p>【第11回】 単回帰モデル (1)</p> <p>【第12回】 単回帰モデル (2)</p> <p>【第13回】 単回帰モデル (3)</p> <p>【第14回】 単回帰モデル (4)</p> <p>【第15回】 総括</p>								
成績評価の方法	授業への取り組み姿勢、授業中に行う課題、期末レポートによって評価します。								
フィードバックの内容	授業中に行う課題の解説を行います。								
教科書	『44の例題で学ぶ計量経済学』唐渡広志 (オーム社) 2013年								
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ	2年生までに学んだ統計学、経済学および Excel の操作に関する基礎的な知識を前提として授業を行います。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付けます。								
その他									